

セルフメディケーションに関するエビデンスの構築 保険薬局薬剤師の視点から

| | |
|--------|---|
| 著者 | 野田 敏宏 |
| 学位名 | 博士（薬学） |
| 学位授与機関 | 北海道医療大学 |
| 学位授与年度 | 平成25年度 |
| 学位授与番号 | 30110乙第107号 |
| URL | http://id.nii.ac.jp/1145/00006643/ |

学位論文審査、最終試験並びに学力の確認結果報告書

大学院薬学研究科長 殿

主 査 小 林 道 也 副 査 齊 藤 浩 司 副 査 唯 野 貢 司 副 査 石 倉 稔 

このたび 野田 敏宏 にかかわる学位論文審査、最終試験並びに学力の確認を行い下記の結果を得たので報告する。

記

1. 学位論文題目

セルフメディケーションに関するエビデンスの構築 —保険薬局薬剤師の視点から—

2. 論文要旨 別 添

3. 学位論文審査の要旨

本学位論文は、保険薬局薬剤師の視点より、健康食品やサプリメントの購入における患者（顧客）のニーズならびに保険薬局薬剤師に何を期待しているのかをアンケート調査により明らかにした。また、文献等に報告されていない情報として、コエンザイム Q10 (CoQ10) 製品について薬剤学的観点より、さらに、カシュウのマウス肝細胞への影響について生化学的な検討を行った。その結果、CoQ10 製品は販売業者の違いにより、推奨服用量や製品からの溶出性に大きな差異のあることを見出した。また、一部の患者において肝障害の副作用が報告されているカシュウは、マウス肝細胞に対する毒性は認められず、一方、アセトアミノフェンの急性肝毒性を軽減することが示された。

本研究は、保険薬局薬剤師は健康食品やサプリメントの情報を患者に対して十分に伝える必要性を明確に示しており、また、その情報を得られない場合には薬剤師自らが構築する必要のあることを示したものであり、博士（薬学）の学位論文に相応しいものと判断される。

4. 最終試験（学力の確認）の要旨

研究成果のプレゼンテーションならびに質疑応答・口頭試問は適切に行われた。よって、学位授与に値する学力と素養を有すると判断する。

以上の結果、野田 敏宏は博士（薬学）の学位を授与する資格の ある ものと判定する。

~~ない~~

以上